

2024年12月13日

## 国連世界観光機関（UN Tourism）

### 世界観光指標（World Tourism Barometer）

#### 2024年11月号について

本報道発表の原文（英語）は、下記リンクにてご覧いただけます。

世界観光指標原文（英語）は、下記リンクにて抄録（無償）

及び全文（有償）をご覧いただけます。 <https://www.e-unwto.org/>

#### 国際観光、年末までに完全回復へ 国際観光収入は観光客数を上回る伸び

2024年12月4日

マドリッド

世界の観光セクターはパンデミック前の水準の98%まで回復し、2024年1月～9月の国際観光客到着数は約11億人となった。最新の国連世界観光機関（UN Tourism）世界観光指標によると、経済的、地政学的、気候的な課題にもかかわらず、年内には観光セクター史上最大の危機からの完全な回復が見込まれている。

COVID-19パンデミックの発生により世界の観光が停滞して4年が経過したが、世界観光指標はこのセクターの目覚ましい回復を反映しており、2024年1月～9月に、ほとんどの地域がすでに2019年の到着者数を上回っている。また、国際観光収入に関しても顕著な結果を示しており、入手可能なデータのあるほとんどのデスティネーションが2019年と比較して2桁の伸びを記録している。

UN Tourism ズラブ・ポロリカシュヴィリ事務局長は次のように述べた。「観光収入に見られる力強い成長は、世界経済にとって素晴らしいニュースです。観光収入が観光客数を上回る勢いで伸びているという事実は、何百万もの雇用や中小零細企業に直接的な影響を与え、多くの国・地域における国際収支や税収に決定的な貢献をしているということです。」

### 地域別の観光実績

2024年1月～9月期の国際観光客到着数は、ヨーロッパにおけるパンデミック後の旺盛な需要と、世界的な主要なソースマーケット(送客市場)の堅調な実績、およびアジア・太平洋地域のデスティネーションの継続的な回復に牽引され、力強い伸びを示した。また、航空便の増便とビザ取得手続の簡素化も国際観光を後押しした。

- ・中東(2019年比+29%)はこの9か月間、記録的な成長を続け、ヨーロッパ(+1%)とアフリカ(+6%)も2019年の水準を上回った。
- ・米州は、パンデミック前の到着数の97%まで回復した(2019年比-3%)。
- ・アジア・太平洋は、2023年は2019年比で66%の回復であったのに対し、2024年は85%に達した。アジア・太平洋は、2023年に国際観光が再開されて以来、到着数の回復にばらつきはあるものの、緩やかな回復を示している。

北半球の夏季は総じて好調で、2024年第3四半期には全世界の到着数がパンデミック前の99%に達した。

2024年の最初の8～9か月の間に111のうち60のデスティネーションが、2019年の到着数を上回った。この期間の到着数で最も好調だったのは、到着数が2倍以上になったカタール(2019年比+141%)、アルバニア(+77%)、サウジアラビア(+61%)、キュラソー(+48%)、タンザニア(+43%)、コロンビアおよびアンドラ(ともに+36%)であった。

### 観光収入は驚異的な伸び

観光収入に関するデータが入手可能な43か国のうち合計35か国が、2024年の最初の8～9か月間にパンデミック前の数値を上回り、その多くが2019年比で2桁の伸び(現地通貨ベース)を報告し、ほとんどのケースでインフレ率を大きく上回った。

収入面で最も好調だったのは、観光収入額がほぼ倍増（2019年同期比）したセルビア（+99%）をはじめ、パキスタン（+64%）、ルーマニア（+61%）、日本（+59%）、ポルトガル（+51%）、ニカラグアおよびタンザニア（ともに50%）であった。

国際観光支出に関するデータも同じ傾向を反映しており、特にドイツ（2019年比+35%）、米国（+33%）、フランス（+11%）といった大きなソースマーケットの間で顕著である。

英国（+46%）、オーストラリア（+34%）、カナダ（+28%）、イタリア（+26%）でも、2024年6月までの支出額の大幅な伸びが報告されている。インドに関する入手可能なデータでは、このますます重要性を増す市場の国際観光支出が急増していることを示しており、2024年6月までの伸び率は+81%（2019年比）となっている。

### **2024年未までの完全回復に目途**

2024年の国際観光客到着数は、2019年の水準に達すると予想されている。国際観光収入は、2023年には既に事実上パンデミック以前の水準を達成していた。

多くのデスティネーションが2023年に既にあるいは2024年に、パンデミック以前の到着数を上回ったものの、いくつかの準地域(subregion)とデスティネーションにはまだ回復の余地がある。北東アジアと中央・東ヨーロッパの一部で回復が遅れているのとは対照的に、他のすべてのヨーロッパの準地域、中東、中央アメリカ、カリブ海諸国では好調な結果となっており、カリブ海諸国ではパンデミック発生前の数値を超えている。

2023年と同様、2024年も国際観光による輸出収入が好調である。これは1旅行あたりの平均支出額（インフレの影響を除く）が増加したためで、滞在期間が長くなったことも一因である。

### **課題は残る**

全般的に好調な結果ではあるが、経済的、地政学的、および気候的な課題はいくつか残っている。観光セクターは、旅行・観光業におけるインフレ、すなわち輸送・宿泊費の高騰や原油価格の変動に依然として直面している。世界における大きな紛争や緊張は引

き続き消費者の信頼感に影響を及ぼしており、異常気象や従業員不足も観光業の業績にとって重大な課題である。

### 関連リンク

[UN Tourism 世界観光指標](#)



[Tourism Statistics Database](#)



○UN Tourism World Tourism Barometer (UN Tourism 世界観光指標「バロメーター」)とは

UN Tourism 世界観光指標（「バロメーター」）は最新の世界の観光動向を示す統計指標で、UN Tourism 本部から、年 4 回を目処に公表されます。UN Tourism 駐日事務所では本部の公表にあわせてタイムリーに情報提供しています。

○国連世界観光機関（UN Tourism）について

UN Tourism は、1975 年 1 月に観光に関する国際機関として設立され、2003 年に国連の専門機関に移行した観光に関する国際機関です。観光の地位・競争力の向上、持続可能な観光の推進、観光を通じた貧困削減や開発の推進等を支援しています。

国連世界観光機関（UN Tourism）駐日事務所は、UN Tourism の地域事務所として、1995 年に設立されました。同事務所ではアジア太平洋地域の交流促進を図り、観光を通じた経済発展や国際相互理解の増進を図るために、国際会議、セミナー、シンポジウムの開催や調査研究業務を行っています。

●お問い合わせ先(UN Tourism 本部：メディア専用窓口)

E-mail: [comm@unwto.org](mailto:comm@unwto.org) 電話: +34-91-567-8100

※メディアの方は本部へ直接、英語でお問い合わせください。

お問い合わせ方法につきご質問がある方は UN Tourism 駐日事務所までご連絡をください。

○一般のお問合せ先

国連世界観光機関（UN Tourism）駐日事務所

(一般財団法人アジア太平洋観光交流センター)

担当：吉田

電話：0742-30-3881

E-mail: [info@unwto-ap.org](mailto:info@unwto-ap.org)